



## **ヘリテージ・アラート：東京・神宮外苑の都市林に差し迫った脅威。 再開発により 3.4 ヘクタールの公園と約 3,000 本の文化的資産としての樹木が失われる**

**プレスリリース、2023 年 9 月 7 日**

イコモスは、日本国内委員会（ICOMOS Japan）および国際文化的景観委員会（ISCCL International Scientific Committee on Cultural Landscapes）と共に、2023 年 9 月に予定されている神宮外苑再開発計画（3,000 本以上の樹木の伐採計画を含む）の撤回を求めるヘリテージ・アラートを発する。これは、17 世紀から続く東京における「庭園都市パークシステム」の中核を保全し、継続させるために不可欠なことである。

再開発において計画されている 3 棟の高層ビルの建設と、既存の野球場とラグビー場の新球場への建て替え・移転は、過去 100 年にわたって形成され、育まれてきた都市の森を完全に破壊することにつながる。

事業者は、三井不動産株式会社、明治神宮、日本スポーツ振興センター、伊藤忠商事株式会社である。東京都は、都民や関係者との適切な対話もないまま、この再開発計画を承認した。

都市公園は人々の憩いの場であると同時に、豊かな生物多様性の維持にも貢献している。都市のヒートアイランド現象を緩和し、大地震などの自然災害時の避難場所にもなる。神宮外苑は、市民の寄付と奉仕活動によってつくられた、世界の都市公園史上類を見ない優れた文化的資産である。

以上を踏まえ、イコモスはこのヘリテージ・アラートを発し、以下を要請する：

1. 事業者である三井不動産株式会社、明治神宮、日本スポーツ振興センター、伊藤忠商事株式会社は、神宮外苑の再開発計画を直ちに撤回し、国際企業として、宗教法人として、また、公明正大なスポーツ振興者としての社会的・倫理的責任を果たすこと。
2. 東京都は、超高層ビル建設のために、都市計画公園を削除するという決定が、公園を利用する都民の権利を永久に奪うものであること、再開発事業のために実施された環境影響評価には根本的な誤りがあり、科学的方法論に基づいて再審を行う必要があることを認

識し、関連する都市計画決定を見直すこと。

3. 明治神宮は、神宮外苑が市民の寄付と奉仕活動によって造られ、「永遠に美しい公園として維持する」という約束のもと明治神宮に奉獻されたことを認識し、再開発事業から直ちに撤退すること。
4. 港区、新宿区、渋谷区は、将来の世代のために、神宮外苑が「名勝」に指定されることを確実にするため、協力をして取り組むこと。
5. 日本国政府は、東京だけの問題とせず、積極的な解決策の方法を考え、共に取り組んでいくこと。

日本イコモス、大量の樹木の伐採を伴わず、現在の計画から生じる二酸化炭素の排出を防ぐ代替案を提示した。

イコモスは、多様な利害関係者が、公園の将来についての議論に貢献できるフォーラムを創り出すことを要請する。

[ICOMOS から送られた書簡の全文を読む](#)

連絡先 ICOMOS Japan - [jpicomos\[at\]japan-icomos.org](mailto:jpicomos@japan-icomos.org)

---

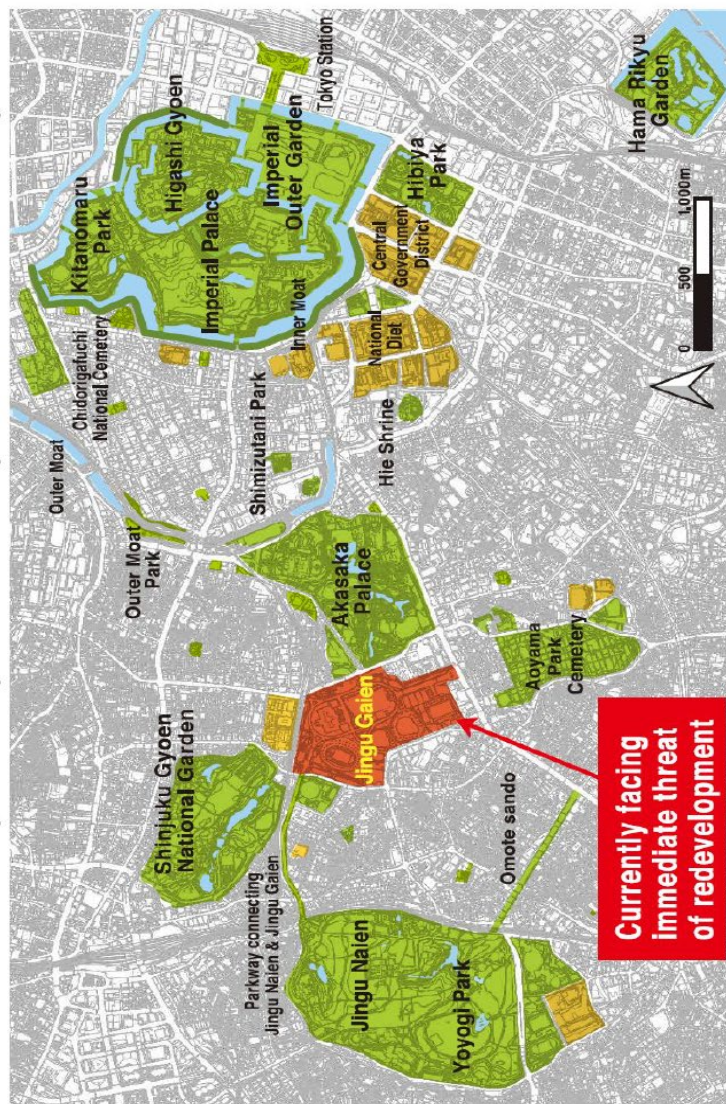
国際記念物遺跡会議(ICOMOS)は、世界の文化遺産の保存、保護、利用、向上を促進することを目的とした、非政府・非営利の国際組織である。イコモスは、共通の教義の開発、知識の進化と普及、より良い保存技術の創造、文化遺産の意義の啓発に尽力している。

イコモスは、世界中の文化遺産の持続可能な保存のために、確固たる哲学的、教義的、管理的枠組みを構築してきた。イコモスは、ユネスコ世界遺産条約の実施に関する世界遺産委員会の公式諮問機関として、世界遺産リストに登録された文化遺産の推薦を評価し、保存状況に関する助言を行っている。

日本におけるイコモスの国内委員会である ICOMOS Japan の会員数は約 500 名である。

[www.icomos.org](http://www.icomos.org)

# Immutable Infrastructure Supporting Urban Vitality Garden City Park System in Tokyo since 17<sup>th</sup> Century



都市の活力を支える不変のインフラストラクチャー

17世紀より継承されてきた 東京における「庭園都市パークシステム」

図1 東京における「庭園都市パークシステム」の中核となる神宮外苑

——再開発により差し迫った脅威にさらされている。

作成：中央大学研究開発機構 グリーンインフラ研究室 石川幹子

グラフィック：グラフィック・デザイナー角井典子、角井功



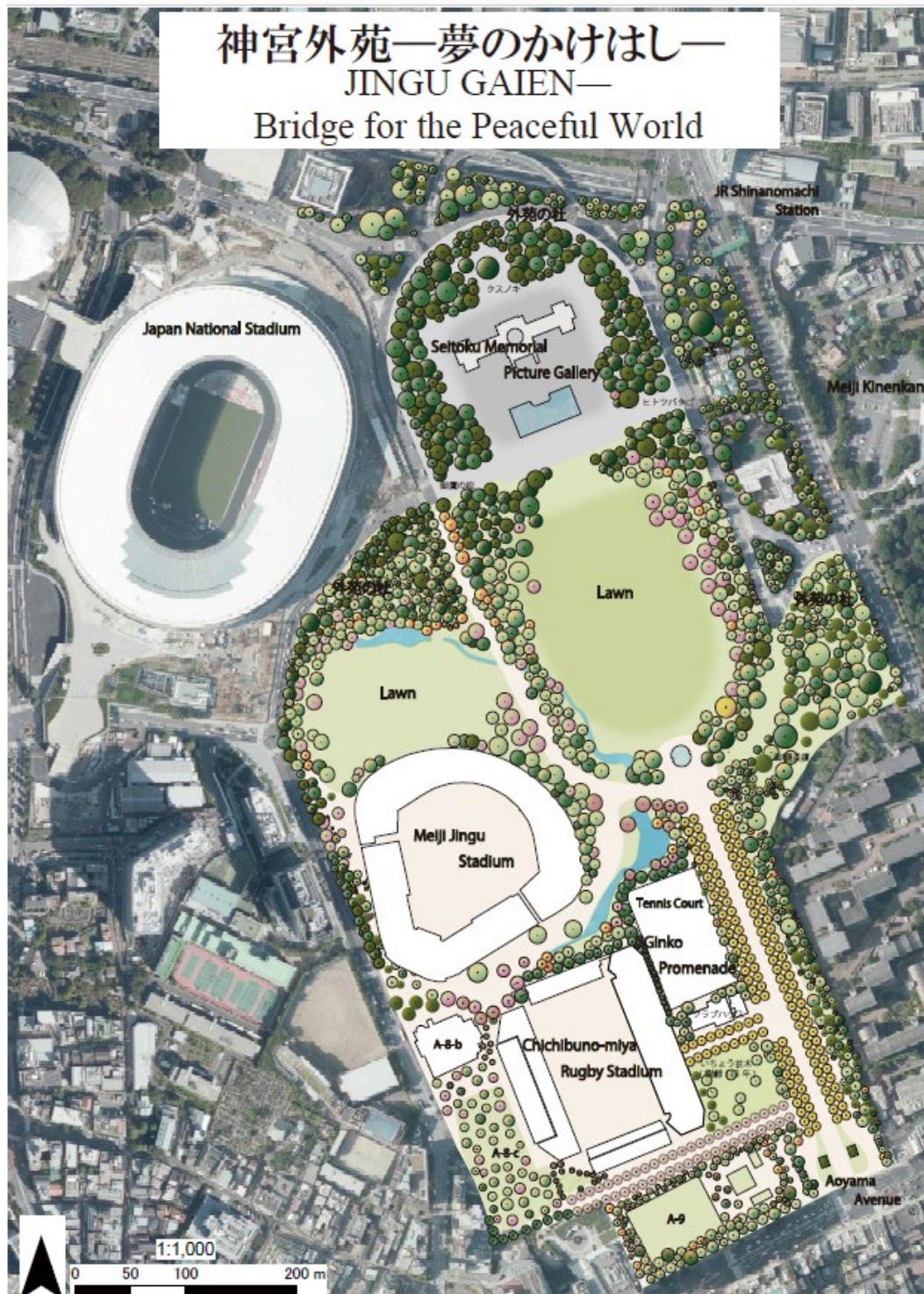


図2 日本イコモスの代替案：神宮外苑——夢のかけはし

作成：中央大学研究開発機構 グリーンインフラ研究室

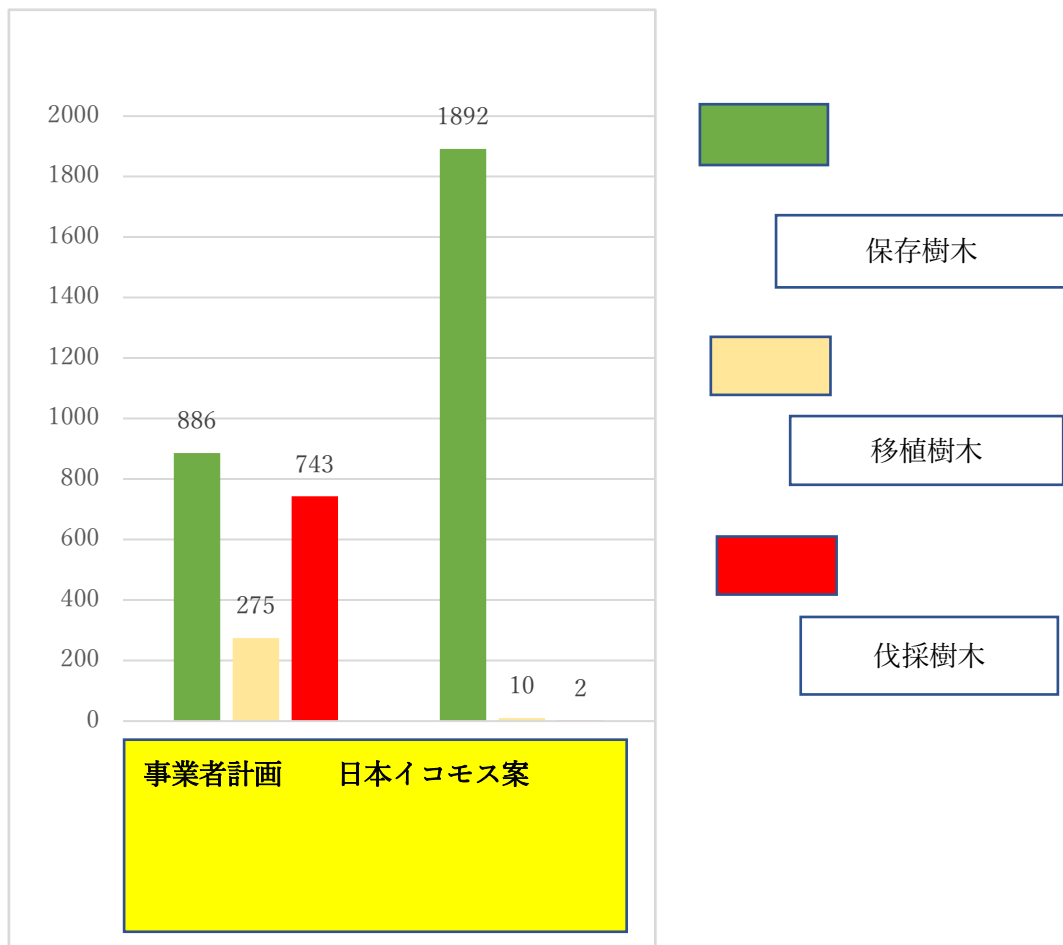


図3 既存樹木の保存・移植・伐採本数に関する事業者計画と日本エコモス案の比較表

＜既存樹木1904本について＞

事業者計画：保存 886 本、移植 275 本、伐採 743 本	合計 1904 本
日本エコモス案：保存 1892 本、移植 10 本、伐採 2 本	合計 1904 本

＜計画後の樹木本数＞

事業者計画：保存 886 本、移植 256 本、移植検討 19 本、新植 837 本

合計 1998 本

日本エコモス案：保存 1892 本、移植 10 本、新植 235 本

合計 2137 本